

静岡県における多職種連携チームによるAMR啓発活動

静岡薬剤耐性菌制御チーム-Antibiotic Awareness, Shizuoka-

静岡県立静岡がんセンター 感染症内科 倉井華子

活動概要

- ・有志の医師・薬剤師・検査技師・県庁職員でチームを組み、診療所を中心とした医療機関と市民への啓発を行っている
- ・県内の薬剤感受性率から診療所向け「外来抗菌薬適正使用の手引き」を診療サポートツールとして作成
- ・平成30年度より行政組織として静岡県薬剤耐性(AMR)対策部会が設置され、本チームが作成した情報やツールを公開

活動内容

県内全域において感染症の知識、理解を深め行動変容に結び付けることを目的に多職種で有志のチームを結成。

医師5名、薬剤師4名、検査技師1名、県庁職員1名で構成。

静岡県医師会や郡市医師会に対し1年に8回の研修会、16回の会報誌掲載を行い、本年度も継続。

市民啓発では2,000人が集まるゆるキャライベントに参加しAMRの寸劇や、感染症啓発ブースを設置。新聞やラジオ、タウン誌も活用し感染症啓発活動を行っている。

県内の抗菌薬使用量や代表的な微生物の感受性率を調査。これらをもとに開業医向け「外来抗菌薬使用の手引き」を作成した。

平成30年度には県の行政組織としてAMR部会が設置。本チームのメンバーが部会委員として参加。10月中に静岡県公式ページで「外来抗菌薬使用の手引き」、静岡県の抗菌薬使用量など耐性菌に対する情報公開を行う。

有志から始め行政組織へ繋がった点、地域の感染症診療の質改善に貢献したことが我々の活動の特徴である。



ゆるキャライベントでの啓発ブース設置と寸劇



静岡県公式ページに情報公開